

平成 26 年 7 月 31 日

大学図書館における先進的な取り組みの実践例（Web 版）に紹介されました。

ICT 機器を活用した学修支援（タッチディスプレイ・タブレット端末が開く新しい学習の扉）が、大学図書館における先進的な取り組みの実践例（Web 版）として文部科学省のホームページに紹介されました。

（報道概要）

徳島大学附属図書館蔵本分館での ICT 機器を活用した学修支援が、「大学図書館における先進的な取り組みの実践例」として 7 月 28 日文部科学省のホームページに紹介されました。

実践例には、学習支援、学内協力、機関連携、電子書籍、講義・アーカイブ配信、人材育成などの区分があり、徳島大学は、学習支援の取り組みとして紹介されました。

また、国立国会図書館のポータルサイト「カレントアウェアネス・ポータル」に図書館界のニュースとして掲載されました。

人体の 3 次元構造や高精細な画像情報を含む教材をタッチディスプレイやタブレット端末を活用して学習し、グループでディスカッションできる部屋を図書館内に整備し、ICT 機器の利活用をサポートして主体的な学習を支援するという取り組みです。

平成 26 年 7 月 28 日（月） 文部科学省下記ホームページ

「大学図書館における先進的な取り組みの実践例（Web 版）」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jouhou/1341375.htm

お問い合わせ先

部局名 図書館企画課（附属図書館）

責任者 松本 秀毅

担当者 國見 裕美

電話番号 088-633-7415

メールアドレス klib@lib.tokushima-u.ac.jp